

2021年9月24日（金） 13:00-17:00

データライブラリアン

2021年度 第4回研修分科会 テーマ

オルテガ『司書の使命』

オルテガ・イ・ガセット（スペインの哲学者・思想家）

1935年のIFLA（国際図書館連盟）大会での演説

“書物は歴史の今日の高まりでは不可欠なものだ。しかし書物は危機に瀕している、なぜなら人間にとって一つの危険物に変わっている。”

＝書物が多すぎる（今で言うなら情報の氾濫）

→書物の「調教師」「医者」「衛生管理者」が必要

→教養に則った選別を

ランガタンの『図書館学の5法則』

1931年

第一法則：Books are for use.（図書は利用するためのものである。）

第二法則：Every reader his or her book.（いずれの人にもすべて、その人の本を。）

第三法則：Every book its reader.（いずれの本にもすべて、その読者を。）

第四法則：Save the time of the reader.（読者の時間を節約せよ。）

第五法則：A library is a growing organism.（図書館は成長する有機体である。）

『図書館学の5法則』の再解釈

OCLC Research “Reordering Ranganathan: Shifting User Behaviors, Shifting Priorities”
カレントアウェアネス-E No.267 2014.09.25 より引用

新・第一法則：Save the time of the reader.（読者の時間を節約せよ。）
解釈：図書館システムとサービスを利用者の実際の情報行動に組み込め

新・第二法則：Every reader his or her book.（いずれの人にもすべて、その人の本を。）
解釈：所属するコミュニティとそのニーズを知れ

新・第三法則：Books are for use.（図書は利用するためのものである。）
解釈：紙媒体や電子資料を提供する物理的、技術的なインフラを発展させよ

新・第四法則：Every book its reader.（いずれの本にもすべて、その読者を。）
解釈：情報行動の中で資料を発見しやすく、入手しやすく、使いやすくせよ

第五法則：A library is a growing organism.（図書館は成長する有機体である。）

Googleの使命

Google

Google について

プロダクト

取り組み

ストーリー

図書館

Google の使命は、世界中の情報を整理し、世界中の人がアクセスできて使えるようにすることです。

国立大学図書館協会ビジョン2025

国立大学図書館機能の強化と革新に向けて 令和3年6月 国大図協第68回総会

<https://www.janul.jp/ja/organization/vision2025>

「国立大学図書館は、社会における知識基盤として、デジタル・非デジタルを問わず、知識、情報、データへの障壁なきアクセスを可能にし、それらを利活用するための環境を利用者に提供することで、教育の質保証、研究力やイノベーション力の強化を推進する国立大学の教育研究活動を支え、社会における新しい知の共有や創出の実現に貢献する。」

重点領域1. 知の共有：蔵書を超えた<知識や情報>の共有目標

1-1) 教育研究成果の発信、オープン化と保存

今回の課題

「機関リポジトリ業務を知る」

情報を整理し、
世界中の人がアクセスできて、
使えるようにすること

機関リポジトリの再定義

国大図協オープンアクセス委員会 2019年8月

https://www.janul.jp/sites/default/files/janul_redefining_the_institutional_repository_20190805.pdf

「大学や研究機関などで生産もしくは保有する知識、情報、データをデジタル情報として公開することで、障壁なきアクセスを可能とし、その利活用を促し、新たな価値を創出する知識基盤」

今回の課題

「機関リポジトリ業務を知る」

オープンサイエンス及び研究データ管理に係る参考となる取組事例

国大図協オープンアクセス委員会 2021年3月

<https://www.janul.jp/ja/news/20210326>

<目次>

1. オープンサイエンス・研究データを所掌する組織等の設置や参加
2. 研究データに関するポリシー・方針・規程等
3. 研究データに関する研究者向けアンケート、インタビュー調査
4. 機関リポジトリにおける研究データへの対応
5. …